

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

廃棄物対策課長 伊藤 耕

電話番号

0852-22-6173

事務事業の名称	一般廃棄物処理施設整備事業	
目的	(1) 対象	施設設置市町村の住民
	(2) 意図	一般廃棄物の適正な処理が推進される
事業概要	一般廃棄物処理施設を計画的に整備させるために、市町村又は一部事務組合に対して事業の実施計画、進行管理等に係る指導・助言を行う。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 一般廃棄物処理施設の整備数	目標値		1.0	1.0	1.0	1.0	件
		取組目標値						
	式・定義 今年度整備完了新施設設数	実績値	2.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	1,884	2,098
うち一般財源 (千円)	1,884	2,072

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

「循環型社会形成推進地域計画」に基づき、計画的に整備が行われている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

市町村及び一部事務組合は、自ら策定した「循環型社会形成推進地域計画」に基づき、計画的に老朽施設の更新や新規施設の設置を実施し、最新の技術を導入することで適正処理を図っている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

交付金事務を行うにあたって、事務費の取扱いや交付対象内外の整理が不十分

②困っている状況が発生している「原因」

交付要綱・取扱要領の記載のみでは判断できない場合がある

③原因を解消するための「課題」

不明点が生じた際に、随時環境省へ確認する必要がある

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

市町村の交付金事務の適正執行のため、実績報告時の指導・助言をより一層強化していく。

9. 追加評価（任意記載）

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。